



2016年10月16日・京都・初勝利のウイナーズサークル



小島友実の あの馬の STORY

ハムレット

「ナーノー」というだけマキシマムペースを管理している松元茂樹厩舎。その先輩に続く活躍が期待されているのがハムレットだ。

昨年の1歳馬募集の時、松元調教師に「この馬の印象を伺つたところ『凄く霧に囲まれる馬です。田中輝彦でもおねえ』私は馬を見る時、田の印象を選択肢の一つに入れていて、マキシマムペースも初めて見た際、田が輝いていましたからね。この1歳馬も順調に育つてくれれば、結果を出しつくれると思つてます」とお話をされました。

その後、育成は順調に進み、昨年7月の中央競馬(芝1400m)でトライアルへ参戦。結果は着でした。

「ハベタードがあわてて跟くなくて後方から伸びて来ました。乗つていたハブレックス騎手が『馬群に入れてもいいおません』でした。今後が楽しみな馬です」と話していただきました。私もあのレース内容を見たが、能力があるなと感じましたね」

2戦目の阪神戦(芝1600m)。雨が降つて重馬場といつてもいいのか、中回りから伸びましたが、前がなかなか開かないですね。もう少しペースは競馬が出来ていたら、際どかったと思います」

そして、福永祐一騎手が連続騎乗となつた戦田、10月の京都戦(芝1600m)

で待望の初勝利を手にしました。

「この時はハブレックス。小さくて馬体ながらじわじわと増え、状態も良かつたのですが、好スタートから一番手位で流れに乗つて、向正面から少しずつ上がりついで、直線は外から伸びて快勝。良しレースをしてくれました」

1勝目を挙げ、さあこれから期待されたハブレックス。しかし怪我が続いた3歳の前半は休養に充てられました。

「初勝利の後に左前球節の剥離骨折。今年1月に帰厩し復帰を目標としていましたが、今度は右前球節を剥離骨折。それでも、今年4月末に栗東トレセンへ取材に行つた際、ハブレックスは厩舎でやんばなが、この馬をトライアル戦から担当している小森繁樹持ち乗り調教助手に普段のこの馬の様子を聞いてみました。

「馬屋では大人しい、手入れは楽ですよ。でも外へ出ぬといつらいタイプといつまわね(苦笑)。うちの厩舎は坂路を乗つた後に坂路上にある運動場で上がり運動をするのですが、ハブレックスと一緒に歩かせたいところが凄いので、早めに引きました。厩舎回りで上がり運動をやめるつらじます。そういう事でいつらいかもしれませんが、馬体重も食べぬむになつて、2戦目、3戦目は馬体重が増えていくままであります。後はもう少し擦れ着つてきて、ハブレックスがね」

4月27日に帰厩したハムレット。帰厩後の状態を松元師に伺つました。

「ハブレックスアーバンがいるまでも乗つ進めなかったことは、帰厩後も順調に調整を進めていますよ。この後は5月27日の田舎町ステークスか、28日の白藤賞へ向かう予定です」

3歳馬にして、ハブレックスもハブリックなだけが、この馬をトライアル戦から担当している小森繁樹持ち乗り調教助手に普段のこの馬の様子を聞いてみました。

「姿を聞くれば、もう少し馬体が増えてきてはいますが、現状の体で結果を出します。でも外へ出ぬといつらいタイプといつまわね(苦笑)。うちの厩舎は坂路を乗つた後に坂路上にある運動場で上がり運動をするのですが、ハブレックスと一緒に歩かせたいところが凄いので、早めに引きました。厩舎回りで上がり運動をやめるつらじます。そういう事でいつらいですが、馬体重も食べぬむになつて、2戦目、3戦目は馬体重が増えていくままであります。後はもう少し擦れ着つてきて、ハブレックスがね」

「ハブレックスアーバンがいるまでも乗つ進めなかったことは、調査を進めていますよ。この後は5月27日の田舎町ステークスか、28日の白藤賞へ向かう予定です」

3歳馬にして、ハブレックスもハブリックなだけが、この馬をトライアル戦から担当している小森繁樹持ち乗り調教助手に普段のこの馬の様子を聞いてみました。

「半始のハブリックがマイル以下で活躍しましたし、血統面からも菊花賞というタイプではないと思いますね。ハブリックの適距離はマイル前後でしょう。ただ走つた跡がかかるようないいがねで、1800m位までは対応できると思うんですけど」

最後に、会員の方々へのメッセージを伺いました。

「姿を聞くれば、もう少し馬体が増えてきてはいますが、現状の体で結果を出します。でも外へ出ぬといつらいタイプといつまわね(苦笑)。うちの厩舎は坂路を乗つた後に坂路上にある運動場で上がり運動をするのですが、ハブレックスと一緒に歩かせたいところが凄いので、早めに引きました。厩舎回りで上がり運動をやめるつらじます。そういう事でいつらいですが、馬体重も食べぬむになつて、2戦目、3戦目は馬体重が増えていくままであります。後はもう少し擦れ着つてきて、ハブレックスがね」

3歳の前半は無理せず休ませた事が今後、良い方に作用しているんですね。まずは一つ一つ勝ち鞍を積み重ねてきました。目標はオーブンです」

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。